

# 大阪大学21世紀懐徳堂 i-spot講座

**受講料無料**  
**各回申込み制**

大阪市と大阪大学が協同で市民のみなさまに提供する公開講座です。それぞれの専門分野から、ともに「学び合う」を意識したテーマ設定と講座スタイルが特徴です。今期は「**いろんなデザイン**」と「**なにわのマンパワー**」の2シリーズ。受講料は無料です。お気軽にご参加下さい！

## なにわのマンパワー

1/29 (火) 18:30~20:00

### 戦前大阪の工業教育

澤井 実 (大阪大学大学院経済学研究科・教授)

日本の製造業の将来について悲観的な議論が多いように見受けられます。大阪は過去においてもそうでしたし、現在もわが国を代表する工業集積地の一つです。大阪は「商都」であると同時に「工都」でもありました。工業をリードする技術は、人と組織のあり方に大きく左右されます。この講座では、戦前大阪で展開された工業教育をふり振り返りながら、工都大阪を支えた人材がいかにして形成されたのかを考えてみたいと思います。定員 30名。

1 JANUARY 2013

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2 FEBRUARY 2013

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

## いろんなデザイン

1/17 (木) 18:30~20:00

### 移り変わるデザインの意味 —19世紀から21世紀へ—

藤田 治彦 (大阪大学大学院文学研究科・教授)

「デザイン」やそれに類する「デッサン」といった言葉がヨーロッパでよく使われるようになったのは16世紀のことですが、それらは産業革命以来重要性を増し、19世紀には英仏両国が「デザイン」や「デッサン」という言葉の取り合いをしたこともあります。今では英語の「デザイン」がフランスの美術学校の名前の一部に取り入れられるなど、「デザイン」は重要な国際語の一つになりました。そのような国際化と近年の意味の拡大についてお話します。定員 30名。

2/4 (月) 18:30~20:00

### 日本の都市景観は美しいのか醜いのか？ —まちづくりとデザインをつなぐもの—

澤木 昌典 (大阪大学大学院工学研究科・教授)

国土交通省が「著しく見劣りがする」と自省した日本の都市景観。各地で景観まちづくりが進められています。都市は、1つ1つの家や建物が集まってできたもの。それがバラバラでは整った都市景観にはなりません。そこには何かの規範やルールといったものが必要です。みんなが良くしようと思うのに期待通りにならない。整えすぎれば面白くない町並み。日本人の空間感覚をも紐解きながら、都市デザインとまちづくりについて考えます。定員 30名。

2/19 (火) 18:30~20:00

### オノマトペに見ることばのデザイン

秋田 喜美 (大阪大学大学院言語文化研究科・講師)

「シコシコのうどん」「御堂筋をガーッと行って」など、日本語はオノマトペ(擬音・擬態語)に富む言語です。よく似た語類は韓国語やアフリカ・東南アジア・アマゾンなどの言語でも報告され、それらは世の中の物事をコンパクトに閉じ込める原初的な言語手段として、時に絵画に喩えられます。この講座では、そうした「絵画的」をヒントに、オノマトペの文法と機能の面白さに言語学的・心理学的に迫ります。定員 30名。  
※本研究は科研費(課題番号 24720179)の助成を受けたものです。

2/15 (金) 18:30~20:00

### 動物の体のデザイン

近藤 滋 (大阪大学大学院生命機能研究科・教授)

動物の体の「形」やその表面にできる「模様」に関して、どうやってそれができるのか？を研究しています。この問題が面白いのは、動物の精密で複雑な形や模様は、「自然にできちゃう」事です。例えばシマウマの模様は、誰かが塗ったものではありませんから、皮膚の細胞が自分で何とかしなければなりません。しかし、細胞の大きさは縞の太さの1000分の1以下です。しかも、縞模様に対応するような体の構造は、皮膚の下には全然ないのです。細胞になったつもりで考えてみてください。その難しさが解ります。実は、その仕組みは、最近の研究で明らかになりつつあります。あっと驚く皮膚細胞のウルトラC技にご期待ください。定員 30名。

- ・ 気軽に教養を身につけたい。
- ・ 仕事帰りに知的気分転換したい。
- ・ 大阪大学の先生と学問談義したい。

**そんなあなたに、i-spot講座！**

# 大阪大学21世紀懐徳堂 i-spot講座

2012年度 後期

「いろんなデザイン」シリーズ／「なにわのマンパワー」シリーズ

日時／2013年1月17日（木）～2月27日（水）全6講座

開講時間は18:30～20:00。

会場／大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」

（淀屋橋 odona2 階）

主催／大阪大学21世紀懐徳堂、大阪市計画調整局

【会場 MAP】大阪市中央区今橋 4-1-1

- ・地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 10番出口直結
- ・京阪本線「淀屋橋」駅 3番出口から徒歩1分
- ・地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 5-A出口から徒歩6分
- ・地下鉄堺筋線「北浜」駅 2番出口から徒歩8分



受講料無料

- 各回実施日の1か月前から申込受付(先着順)を開始します。
- お申込みは、講座名/受講者ご本人のお名前/電話番号を、電話かメール、FAXでお知らせ下さい。
- 定員に余裕がある場合は、直接会場にて、当日申込みをお受けします。

お申込み・お問合わせは

アイ・スポット Tel&Fax: 06-4866-6803

※電話受付は  
月～金 11:00～21:00  
土・日・祝 11:00～20:00

アイ・スポット 大阪市 検索

i-spot@voice.ocn.ne.jp

<http://www.city.osaka.lg.jp/keikakuchosei/page/0000018184.html>



大阪大学  
21世紀  
懐徳堂

ひらく・つたえる・わかちあう

大阪大学の源流のひとつである「懐徳堂」は、1724年(享保9年)に大坂の五商人の手で創設された町人の学問所でした。町人の手によるセルフ・ラーニングの拠点となり、「学び合いの精神」が尊重されました。大阪大学21世紀懐徳堂は、公開講座、カフェイベント、シンポジウム等を通じて、市民のみならず大阪大学の学生・教職員が出会い、学び合う場づくりに取り組んでいます。 <http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/>